午前10:54 · 2021年12月2日·Twitter for iPhone

ジオ・くもトレ赤川杯
2022.9.10 sat

雲辺寺周辺ジオ・トレイルランニング大会2022

2022.5.21 sat

併設　ジオ・トレイルランニングフォーラム in 四国

主　　催：雲辺寺周辺ジオ・トレイルランニング大会2022実行委員会
共　　催：さぬきジオパーク構想推進準備委員会、他（予定）
後　　援：観音寺市、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、三好市（予定）
協　　賛：株式会社四国ケーブル、（地元企業、国内企業）（予定）
企画運営：赤川林業西宇事務所（天空のラボ峰の山荘）、NPO法人元気・まちネット（東京）

【基本理念】（予定）
日本の森林面積は約2500万haで、日本の国土の66%と、国土の約2/3を占めています。森林面積が多い県の1位は北海道（554万ha）で、少ない県は、大阪府,東京都に次いで香川県が8.8万haとなっています。これまで森林が果たしてきた多様な機能を理解しながら、その機能を十分に発揮し、持続可能な四国の豊かな森づくりを目指すため、雲辺寺周辺ジオ・トレイルランニング大会（通称：ジオ・くもトレ赤川杯）を開催します。
雲辺寺は四国88ヶ所の66番札所で、お遍路みちの中でも、標高991mと最も高い位置にあります。現在、お遍路参りは香川県側ではロープウェイを利用しますが、昔は標高差661m、距離約4.2kmを歩いてお参りしていました。
一方、日本にはジオパークが44地域にあり、その内9地域がユネスコ世界ジオパークです。四国には、３つのジオパーク（室戸ユネスコジオパーク、四国西予ジオパーク、土佐清水ジオパーク）、２つの登録途上のジオパーク（三好ジオパーク構想、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会）があります。地球（ジオ）を学び、ジオを丸ごと楽しむには、ジオ（大地）を踏みしめ、ジオを体感できるスポーツが適しています。学問とスポーツの融合がコロナ後を見据えた「地域の活性化」を支援することが可能であると考えています。讃岐ジオパーク構想推進準備委員会とトレイルランニング大会がコラボし、持続可能な四国の豊かな森づくりを考える新たな出会いの機会を創出したいと思います。

大会とフォーラムの概要（予定）

○雲辺寺周辺ジオ・トレイルランニング大会2022

日　　時：2022年9月10日（土）
会　　場：雲辺寺周辺
受　　付：雲辺寺山麓駅駐車場（香川県観音寺市大野原町丸井）
競技種目
　・Aタイプ：トレラン40km　○○名（高低差約660mを活用した大会）
　・Bタイプ：トレラン10km　○○名
　・Cタイプ：健康ウォーキング5km　○○名
　※友人・家族でのチーム参加を視野にジオを楽しむ競技の開催を検討。
　人数に関しては全体で100名～200名。コロナ感染状況に応じて増減します。
参加費
　・Aタイプ：8,000円
　・Bタイプ：6,000円
　・Cタイプ：3,000円
募集期間：2022年3月1日～6月31日

○ジオ・トレイルランニングフォーラムin 四国

日　　時：2022年5月21日（土）13：30～16：00
会　　場：雲辺寺周辺

事務局・お問い合わせ

　実行委員会事務局（赤川林業西宇事務所）石井明
　　　e-mail：ishii.akira@kagawa-u.ac.jp
　　　http://wwwd.pikara.ne.jp/villa-mine/

※基本理念、大会・フォーラムの概要は、あくまでも予定ではあって、決定ではありません。今後、ボランティアスタッフを募集し、十分な打ち合わせを行い、地域貢献できる大会・フォーラムを目指します。